

# 県政HOT ニュース

## 山上被告の公判前整理手続 奈良地方裁判所で行われる

去年の7月、奈良市で安倍元総理大臣が銃撃された事件について、殺人などの罪で起訴された山上徹也被告の裁判を前に、「公判前整理手続」が初めて行われました。日本を世界を震撼させた事件だけに、裁判所前には朝から多くの報道陣が詰めかけるなど、現場は騒然としていました。ただし、今回は被告本人は出席せず、証拠や争点に関するやりとりが行われたということです。

事件の詳細は、ご承知の通りだと思えますが、改めて詳述すると、無職の山上徹也被告（43歳）が去年の7月に安倍元総理大臣を銃撃し、その結果、殺人などの罪で起訴されたというものです。報道などによりまずと、この事件は裁判員裁判で審理される予定であり、13日には奈良地方裁判所で「公判前整理手続」が行われたということです。弁護団によれば、この手続は午前10時ごろから約20分で終了し、証拠に関する議論などが行われたということです。被告本人はこの手続には出席していませんでした。

今後も手続は続き、裁判の日程や内容が決定されますが、実際の裁判は来年以降になる見通しです。山上被告は捜査段階で、母親が旧統一教会に多額の献金をしていたことに対する恨みから事件を起こしたという供述をしており、裁判では被告の背後にある背景や情状が刑の重さなどの争点になると考えられています。

一方、政府は旧統一教会に解散命令を出したばかり。この後、裁判がどう進んでいくのか、注目されます。

## 塑像のワークショップ開催 奈良時代に想いを馳せる

奈良県内で奈良時代の仏像制作を学び、古代の技法を再現するワークショップが開催されることになりました。このワークショップでは、仏像制作の歴史や技法、構造についての知識が広まる一方、参加者は奈良時代の伝統的な技法を実際に体験する機会を提供されます。ワークショップに参加することで、自身の手で仏像を制作する喜びを味わいながら、奈良時代の仏師たちがどのようにしてこれらの芸術品を生み出したのかに思いを馳せることができます。これは、奈良時代の芸術や文化に興味を持つ人々にとって、非常に貴重な機会となります。

## 県議会議員の資産公開

奈良県議会議員の資産等報告書の閲覧が開始されます。令和5年4月30日時点において有する資産等となります。閲覧はすでに始まっています。

## 人口129万6千人 8月の人口動態

奈良県が9月1日に発表した人口動態によると、総人口は129万6千人で、前月に比べて763人減少しました。そのうち、自然減が661人、社会減が102人となっています。総世帯数は55万4千世帯で、こちらは92世帯増えています。

なお、人口が増えた市町村は9市町村で、減少した市町村は26市町村です。変化なしは4町村となっています。

## ひとしのひとりごと

- …奈良県の「県域水道一体化」は、多くの市町村にまたがる壮大な計画であり、このような一体化には多大なメリットが予想されています。
- …山下知事自らもこの構想の有用性は評価していますが、約30年後の赤字リスクがあると疑問を呈したことで、一部の市町村から反発が出てしまいました。これは決して個別の意見や局面にとらわれるべきではなく、より広い視野で物事を考える必要性を教えてくれた瞬間でもありました。
- …この反発が生んだ教訓は重要で、新しい試算やプランが出されるごとに、その都度しっかりと評価を行い、多角的な視点で問題を考察することの重要性が確認されています。ただし、これによって市町村間、さらには県と市町村の関係における新たな課

## 県域水道一本化 当初の計画継続だけは歓迎する

- 題も明らかになりました。それは、各市町村の多様な意見や立場をどのように調整・統合するかという課題です。
- …そして何よりも、この一件は各地の事情や課題に目を向ける契機となりました。水道管の老朽化、人口減少による経営厳格化など、先行きの不透明な要素が多い中で、奈良県と市町村が協力し合って取り組むべき点は多々あります。
- …このような多様な視点と課題意識を持つことで、県域水道一体化はより実用的な、そして持続可能な形で進展していく可能性が高まると思います。今後の動きに注目が集まる中、この一体化が如何に地域社会や環境に貢献していくかが、今後の焦点となると言えるでしょう。
- …いずれにしても山下知事が2025年4月に水道事業を統合する当初の計画を継続する考えを示したことは歓迎しておきます。



県政に関する疑問や質問は、西川ひとしにお寄せください。

〒639-2141 葛城市弁之庄58-2  
TEL:0745-69-1234 FAX:0745-69-7891